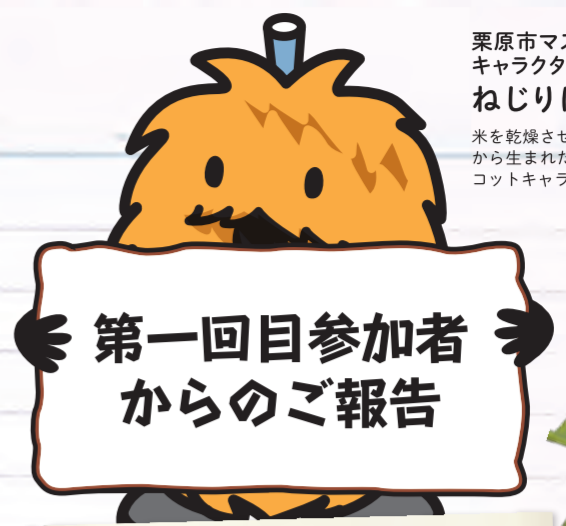


栗原市合併プロジェクト 周年記念

初夏の参加者レポート

～伝えたい栗原がありました～ 5/24(日)



第一回参加者からのご報告

栗原市 一迫地区!



栗原市の南西に位置する旧一迫町のエリア。迫川をはじめ豊かな水源に恵まれ、米どころとして知られる。

「むげよすぎ」とは? 一迫地区の集落、向茨沢の通称。現在は、寛文4(1664)年から続く農家・狩野家が中心となり、昔ながらの農業や生活を今に伝えている。

農

米どころむげよすぎの田植えを体験!

初めての田んぼに大興奮! 子どもも大人も泥んこで苗を植えました♪

5月24日、真夏のような青空の日曜日に第1回栗原プロジェクトが開催されました。この日、宮城県各地から若老男女約60人が参加。尚綱学院大学の学生もボランティアとしてメンバーに加わり、一行は山間の田の田植えをお手伝いする目的で一迫地区の農家「むげよすぎ」に向かいました。豊かな里山に囲まれた日本の原風景のような田園にみんな大興奮!ほとんどが初めての経験に戸惑いながらも、夢中になって農作業を体験しました。



手で植えるのすごく大変!でも楽しい!!

カエルや虫もいっぱいだよ!

秋にはおいしいお米になるよ!

一本一本手で田植え!とても大変な作業でした。

江戸時代から続く「むげよすぎ」。ここで管理する「ヤツダ」と呼ばれる田は、ぬかるみがひどく機械が入れないため、今も人の手で田植えが行われています。“古くからの田を守る人がいることは栗原の誇り。見守り続けたいですね”と「くりはらツーリズムネットワーク」の菅原美恵さん。プロジェクトではこの後、秋の稲刈りで「むげよすぎ」を訪れます。

合併して広くなった栗原市。たくさんの魅力を知ってほしい

9町1村が合併して生まれた栗原市には、どの地区にも名物がたくさんあります。ぜひ足を運んで、栗原の自然や食、そして人に触れてください。

栗原市長 佐藤 勇

お昼は地元食のバイキング!

お母さんたちが作る「田植え料理」に舌つづみ。

待ちに待ったお昼ごはん!「くりはら食ツーリズム研究会」のみなさんが地元食材を使った自慢の味を用意してくれました。おにぎりは「むげよすぎ」で収穫したひとめぼれ。煮物はこの春とれた山菜。「昔、農作業の合間に畦道で食べた昼食をアレンジしました」と会長の小野寺麗子さん。栗原の自然が生んだ食事でお腹もいっぱい。



刺身こんにゃく ワラビの一本漬け ぼた餅 高野豆腐のはさみ煮 山菜おこわ

産直市場で、温泉で、すてきな栗原を発見!

栗原名物が並ぶ産直市場。

昼食のあとは「あぐりっご金成」へ。新鮮野菜や苗などが揃うこの人気店での注目は、米やゴマなど地元食材を使ったオリジナルジェラート。個性的な味わいを楽しみました。



爽快な温泉で作業の疲れをリセット。

締めくくりは「金成延年閣」。栗駒山を望む露天風呂とサラサラの湯が疲れた体を癒やしてくれます。ねじりほんによもお出迎えして、みんなの頑張りをねぎらってくれました。



プロジェクト参加者からのメッセージ



オーストラリア出身
ケイトリン・コリンズさん

栗原のやさしさと、日本らしい自然に触れることができました。外国の方にもお勧めしたい場所ですね。ぜひ、栗原のおもてなしを楽しんでください。



仙台市
岩崎 大輝さん

田植えは難しかったですが、親子で貴重な体験ができました。秋に収穫されたお米を食べるのが待ち遠しいです。稲刈りもきっと楽しいと思いますよ!

仙台市 鈴木さんご一家



第2回参加者の皆さんへ

自然の中で泥んこになる貴重な経験ができました。栗原の自然はとっても気持ちがいいですよ。今回植えた苗の成長と一緒に見守っていきましょう!

第2回募集は明日の朝刊をチェック!